

2017年度

高3までにしておくべきこと

東進東大特進コース

## 【高3になるまでにしておくべきこと、しておいた方がいいこと】

## ■英語

No.	科 類	開示点数	自己採点	学習のポイント
1	文一	82	80	早い段階である程度仕上げておく、高3で他の教科に時間を割くことができます。単語と文法は高3までに仕上げておきましょう。単語帳は『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)がオススメです。リスニングは毎日継続することが大事です。基礎が仕上がったら1日1題程度、長文に取り組むことで、徐々に読む速度を上げることができます。
2	文一	74	65	高3になるまでにあらかじめ文法と単語を完成させることが最優先です。なるべく高3時に他科目に時間を割くことを考えた際に、知識の積み重ねが大切な両分野は済ませておきましょう(僕はこれを軽視したところ点数が安定しませんでした)。なんらかの参考書をやりこむのが鉄板です。またその上で文章の構文を取れるようにしておくことができれば高2までの段階だと十分だと思います。細かいところを詰めておきましょう。
3	文一	74	70	文法事項がまず一通り身につけている状態が望ましいです。単語ももちろん早くから習得して損はないですが、優先順位としては、文法事項→単語です。センター試験を本番1年前に取り組み、特に問題なく解けるレベルにしておく、高3になってすぐに東大型の演習を始められると思います。
4	文一	86	70	英語は早期からの完成が望まれる科目です。文法事項・和訳力に穴がないか今一度確認するとともに、東大の形式を徐々に意識してゆくのが良いと思います。特に、東大の英語は量が多いので、たくさんの英文に耐える集中力を早い段階で身につけておくこととスムーズな学習に繋がります。
5	文一	83	75	文法と単語を固めておく、良いと思います。高2までに英語を得意科目にしておきましょう。まだ理科や地歴などに割く時間が多くないと思うので、英語に時間をとりましょう。リスニングもお勧めです。
6	文一	92		私の場合、受験英語の勉強は高3になってから始めました。あまり早くに受験英語の勉強を始めると、途中で英語自体のことが嫌いになってしまい、点数が伸び悩む可能性もあります。私は、高3までは学校を中心に英語の勉強をしつつ、洋画やYouTube等で楽しく英語に触れていました。
7	文二	87	80	英語は一度できるようになると定期的に触れてさえいれば力が落ちにくい教科なので、高2の間に一番時間を割いておきたいところです。まずは単語と文法を固めましょう。おすすめは『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)と『NEXT STAGE』(桐原書店)です。好みに応じて『DUO 3.0』(アイシービー)や『全解説 頻出英文法・語法問題1000』(桐原書店)を使うのもアリだと思います。それらが終わったら、構文に入りましょう。『英文解釈の技術100』(ピアソン桐原)は例題と演習問題あわせて200題ほどあるのでおすすめです。
8	文二	74	67	まず、文法や構文の暗記はすませておきましょう。私は単語帳も進めていて、『単語王2202』(オー・メソッド出版)と『英単語ターゲット1400 (4訂版)』(旺文社)を利用していました。長文については、分からない単語があった時に意味を推測しながら読み進められる力をつけておく、良いと思います。そのためには、身近なテーマや時事問題を扱った長文をたくさん読みましょう。リスニングも、教材の付属のCDなどを利用して耳を慣らしておく、良いと思います。
9	文二	96	95	センターで8割以上を安定して取れる程度の文法・単語をきちんとやると良いと思います。また単語に関しては余裕がある人は『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)などのレベルの高いものを進めると良いと思います。
10	文三	80	80	数学と共に高1・高2の間に基礎を固めておくことが重要な科目です。単語や文法等知識事項をおさえて(単語は『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)がオススメです)長文読解やリスニングの量をこなして、英語に多く触れましょう。英語に時間の割けるうちに京大タイプのじっくり考えるような英文解釈にも取り組んでおく、良いと思います。
11	文三	75	70	英語については、高2の3月までに固められると安心であると言われますが、その通りだと思います。この時期には単語帳を繰り返し読みながらポキャプラーを豊かにし、文法事項も一通り抑えて長文への抵抗感をなくすことを目標にすると良いと思います。リスニングはTEDのスピーチを趣味も兼ねて聴くようにしていました。

## 【高3になるまでにしておくべきこと、しておいた方がいいこと】

## ■英語

No.	科 類	開示点数	自己採点	学習のポイント
12	理一	72	65	基本的な英単語を確実に覚えましょう。また基本的な文法も確実に押さえましょう。また英語の文章を読むことにも慣れておきましょう。まだそんな難しいことをする必要はありませんが、基礎を押さえておくの良いと思います。『NEXT STAGE』(桐原書店)や『頻出英文法・語法問題1000』(桐原書店)などがお勧めです。
13	理一	82	70	英語の基礎となる単語・文法の力をコツコツと時間をかけてつけると良いです。もちろん長文読解やリスニングは基礎学習が終わるまでやってはいけないということではないので、あまり難しすぎない難易度の問題を並行してやっていきましょう。問題演習を通して新しい単語や文法を学ぶこともできます。
14	理一	66	50	高2の間に終わらせた方が良いことは、まずは単語です。自分はまだ時間がなかったため、高2の間は『英単語ターゲット1400 (4訂版)』(旺文社)だけしかやらず、あとは長文にでてきた知らない単語を逐一覚えるという勉強法でした。高3になってから、部活の移動のバスの中などでリスニングの勉強も兼ね、『DUO 3.0』(アイシーピー)をやっていましたが、今思えば、高2の間にやっておいた方が良かったと思います。
15	理一	82	71	学校でもらったもので構わないので、単語帳、文法書、構文の参考書を1冊仕上げしておくことを勧めます。高3になってからそういった基礎事項を詰める時間を纏って取ることはなかなかできません。高2のうちに二次試験の問題を解くための土台として基礎事項を詰めておくと、これから先の受験勉強がスムーズに進むと思います。
16	理二	60	63	とりえず単語、文法は磐石な状態にしておくのが理想です。高3になってから東大型の模試等を受けるにあたって、その処理量の多さに辟易することもあるかもしれません。しかし、単語力のある人であれば時間内に終わりますし、見直しする時間すら生まれるかもしれません。英語は技能習得です。やるかやらないかの問題なので、僕のように後で後悔することがないように皆さんには頑張ってほしいです。
17	理二	99	90	文法の規則などについての疑問は、高3になる前に解決しておいた方が良いでしょう。また、単語帳についても、基礎的なものは高2のうちに1冊終わらせておくの良いと思います。リスニングに苦手意識がある人は、早めにリスニング対策を始めて習慣化しておくの良いと思います。
18	理二	89	80	高2の間に基礎を固めておくことが大切です。構文や文法の知識を頭に入れ、単語の意味さえ調べれば長文を読める状態にしましょう。単語も単語帳でこつこつ覚えておくことをお勧めします。目安としてセンター模試で8、9割とれるようにすることを目標にするのもいいと思います。
19	理三	90	80	高3では理科(社会)に力を入れることになるので、英語は高2のうちにある程度のところまで完成させておくのが望ましいです。単語は後で焦ることのないように『鉄緑会東大英単語熟語鉄壁』(角川学芸出版)などで固めていきましょう。また、東大の英作文は自由英作文が基本であることも見据えて、今のうちから自分の使える表現をストックしていきましょう。この時期からリスニングの演習も積んでおくの良いと思います。
20	理三	94	92	高2の間にやっておくべきこととして絶対外せないのは単語と文法です。単語に関しては、『鉄緑会東大英単語熟語 鉄壁』(角川学芸出版)など定評のあるものが多いので、東大入試に対応できるレベルのものを1つ選びそれをひたすら覚えましょう。覚えるときの注意点として、赤シートで隠す系の勉強法がポピュラーですが、必ず1回は手で書きましょう。(手で書いた方が印象に残りますし、書かないとスペルを勘違いして覚えるリスクがあります。)文法に関しては、センター2Aのような問題が多く掲載されている問題集『Next Stage』(桐原書店)などをやりこみましょう。やっておくいいことは精読力(東大英語4B)の向上です。この時点で難しい英文をちゃんと理解できる力があれば良いと思います。おすすめ参考書は『英文読解の透視図』(研究社)です。
21	理三	74	75	高3までに、文法と単語をマスターしておきましょう。文法は、センターの第二問を迷うことなく全問正解できるレベルに持っていきとよいでしょう。単語は、どれか単語帳を一冊決めて、高3になるまでに二周、目を通せると思います。少なくとも一周はしましょう。余裕のある人は、洋書を読むのもいい勉強になると思います。
22	理三	95	85	英語は理科と異なり、短期間では伸びないので、この時期から毎日コツコツやるのが大事だと思います。東大の英語は分量が非常に多いので、長文を毎日読むなどして速読力をつけておくいいです。この時期から東大模試を受けて東大の英語の形式を大体掴んでおきましょう。
23	理三	81	80	文法や頻出単語などは高3が始まるまでに一通り学習しておくことが望ましいです。また、私はあまりできなかったことなのですが、英文をたくさん読んだり聞いたり音読したりして、英語に触れる時間を多く作っておくと、高3になってからスムーズに学習を進められると思います。

## 【高3になるまでにしておくべきこと、しておいた方がいいこと】

## ■国語

No.	科 類	開示点数	自己採点	学習のポイント
1	文一	63	55	学習を進めるとすれば古文と漢文の知識面になると思います。学校などの授業を聞いてそれを身に付けること、また市販の参考書で文法や句法の知識を盤石にしておくことが高3になってから役に立ちます。現代文は林先生の授業を受講するとよいでしょう。とにかくこの科目はかける時間を最小限にとどめておいて他科目に時間を使いたいところなので、あまり根詰めてやる必要はありません。少しずつ進めていきましょう。
2	文一	72	50	高3になるまでに古典の基礎を固めておくのと良いと思います。具体的には、古文の助動詞を始めとする文法や古文常識、漢文の句型や語彙です。基礎が固まっていればすぐに演習に入れますし、古典は演習量が大事になってくるので、高2の終わりまでに基礎を習得しておくことが望ましいです。漢字も高2のうちに一通り勉強しておくのが良いと思います。
3	文一	65	55	古典文法と句型を早期に習得しておく、学習がスムーズに進みます。英単語がある程度固まってきたら古文単語や漢文の漢字の意味などを覚えていきましょう。問題演習は、今は学校で取り扱う内容を理解していくことが重要だと思います。
4	文一	70	60	現代文は特進の授業のみで良いと思います。古文・漢文については、高3になるまでに古文単語と句法を仕上げておくべきです。東大の古漢では基礎が問われることが多いので、基礎を疎かにしないでください。センターで9割以上取れる程度の力がついていると良いと思います。
5	文一	68		現代文に関しては、林修先生の授業で論理的思考を鍛えておくのと良いと思います。古漢に関しては、本格的に勉強を始めるのは高3になってからでもなんとか間に合うと思います。ただ単語や句型など、文章を読むのに必ず必要になる基礎事項はある程度押さえていた方が、いざ高3になったときにスムーズに勉強を進められると思います。
6	文一	71	60	古文は文法、漢文は句型を頭に入れておきましょう。薄いワークブック的なものでも十分だと思います。古文は単語の暗記も開始しておいた方がいいと思います。余裕があったら簡単なレベルの演習も始めておくとなおさら良いと思います。
7	文二	60	60	現代文に関しては、早めに一度過去問に目を通して形式を把握しておくことを勧めます。あとは漢字をやるくらいにとどめておいて問題ないと思います。古文は文法と基本単語、漢文は句型を済ませておく、早い時期から問題演習に入ることができます。古文は『古文上達 読解と演習56』(Z会出版)と『読んで見て覚える重要古文単語315』(桐原書店)、漢文は『漢文早覚え即答法 パワーアップ版』(学研マーケティング)または『漢文ヤマのヤマ パワーアップ版』(学研マーケティング)がお勧めです。
8	文二	75	60	現代文については、特に何もしていなかったです。林修先生の現代文を受講した後は、その読み方を意識して模試などを受けていました。古文漢文については、頻出の単語の意味や活用を暗記しておく、高3になってから演習をする際に問題文を読むスピードがつくと思います。学校で配布された『読んで見て覚える重要古文単語315』(桐原書店)で暗記をし、『漢文(河合塾SERIES 入試精選問題集)』(河合出版)や、『古文(河合塾SERIES 入試精選問題集)』(河合出版)を利用していました。
9	文二	44	55	現代文については林修先生の講座を取っていれば予習・復習をして、取っていなければ特にやることはないと思います。古文や漢文に関しては基本的な単語・文法・句法を抑えるようにしていくと良いと思います。
10	文三	69	68	まず古文漢文に関しては、基礎的な文法や技法を抑えることが肝要です。古文単語帳は『古文単語FORMULA600』(東進ブックス 大学受験FORMULAシリーズ)を使用していました。漢文は学校の授業や教科書で取り扱う題材について、自分で訳を作ったりと訓練していました。現代文は林修先生の講座で学んだことを復習すると良いと思います。
11	文三	58	60	現代文は東大特進の林修先生の授業を復習すると良いです。古典に関しては、まず古典文法・古文単語・漢文句法などの古典の知識事項を高1・高2のうちに一通りおさえてしましましょう。学校での学習等を通して、古典の有名な作品に触れつつ古文に慣れておくことが大切だと思います。その際音読は効果的です。

## 【高3になるまでにしておくべきこと、しておいた方がいいこと】

## ■国語

No.	科 類	開示点数	自己採点	学習のポイント
12	理一	32	30	自分は特に何もしていなかったのでやや後悔がありますが、古文の単語・文法、漢文の句法・用字の基本的な部分が詰められると理想的です。学校の古典の授業で行われる小テストの勉強などに毎回真剣に取り組んでいけば、その目的は十分に達成されます。高3になるとなかなか理系は古典に時間が避けないと思うので、やっておいて損はないと思います。
13	理一	46	40	国語は高1・高2のうちはそのままで多くの時間を割く必要はありませんが、古典は舐めてかかるとあとで後悔するので、文法事項で弱いところはないか今のうちに確認しておきましょう。
14	理一	35	35	現代文は林 修先生の授業を受けておくだけで十分だったと感じます。また古文漢文については、基本的な単語や語法を押さえておくといいでしょう。この時期はあまり受験を意識せずに、学校の定期テストをまじめにやっておくことも大切であると思います。
15	理一	38	35	自分は高2の間は国語の勉強はほとんど何もやっておらず、部活があったので、特進の授業も受けることが出来ませんでした。時間に余裕がある人は、林 修先生の授業を受けて復習をすると、高3につながると思います。古漢に関してはまだ焦る時期ではないと思いますが、時間に余裕がある人は始めていくと良いと思います。
16	理二	48	50	現代文に関しては特に今の時期からすることはありません。林 修先生の授業をとっているのであれば予習復習は入念にした方がいいです。古漢は学校の授業を活用して文法や重要単語、句形を覚えましょう。古文の品詞分解は文法と品詞の理解におおいに役立つので宿題で出たらぜひ真面目にやって下さい。
17	理二	36	43	理系に限って話をさせていただきます。理系の受験生に最も求められるのはセンター試験での高得点獲得であり、二次試験は配点も低いので、そこまで重要視する必要もないと思います。したがって、まずは古文の重要単語と重要文法、そして漢文の重要句形と漢字の基礎力が大事です。現代文は林 修先生に一任すれば問題ないと思いますので、高3までにやるべきことといえばそれくらいです。
18	理二	43	35	古文単語や、漢文の句形の勉強を早くから行っておくと、高3であまり時間を割かなくても良くなります。
19	理三	44	45	高2以下のときは学校の授業を中心に学習していました。時間に余裕がある人は、古文や漢文が書かれた時代の背景について勉強するのも良いと思います。理解度が深まり、古典文章が読みやすくなるのではないかと思います。
20	理三	53	48	現代文は林 修先生の思考の仕方を正しく学べば大丈夫なのでそれを頑張ってください。古文漢文に関しては、あまり時間を取る必要はないですが基本的な単語、助動詞の活用(古文)、基本的な句法(漢文)くらいは完璧に叩き込んでおく方が良いです。センターの文章が2次の文章より難しいので、センターがある程度(80点/100点中くらい)できれば高2としては上出来だと思います。
21	理三	31	44	現代文よりも古文漢文の勉強を優先しましょう。「センター試験同日体験受験」の古文漢文で満点とることを目指して頑張ってみてください。まずは、文法、単語、句形を頭に入れてから、センター過去問を使ってたくさん読解演習してみてください。
22	理三	46	35	古文単語、漢文の句形、漢字の意味など、この時期からコツコツ覚えていけば良いのは言うまでもないですが、英数理が不安であればそちらに時間を回した方が得策だと思います。
23	理三	54	35	古文単語や漢文句形はスキマ時間に参考書を眺める程度でいいので、今のうちからやっておきましょう。英数がまだまだという人はそちらを優先しましょう。



## 【高3になるまでにしておくべきこと、しておいた方がいいこと】

## ■数学

No.	科 類	開示点数	自己採点	学習のポイント
1	文一	80	75	問題が分野ごとで分かれている教材(そして各大問のテーマが明示されているのが望ましい)、解説が丁寧な教材(各問題の解答のみならず、そこから学ぶべき重要事項を一般化して述べられているものが望ましい)に取り組みましょう。もちろん自分のレベルに合った問題が収録されていることは前提です。
2	文一	70		数学は、どれだけ得意分野でミスを少なくし、苦手分野で点数をかき集められるかが勝負のキギとなります。高3になるまでに自分の得意分野と苦手分野を客観的に分析し、把握しておくが高3になってから効率よく受験勉強を進められると思います。
3	文一	58	45	高3になってからじっくりと問題演習に取り組めるように、この時期はセンターレベルの最低限の数学的な知識を補充しておきましょう。学校の授業をしっかり聞くだけでも全然違うはずですが、余力があれば少し難しい問題集などに手を付けるのも十分有効ですが、あまり焦りすぎずに基礎を盤石にすることを最優先にしながら勉強を進めていくべきだと思います。また、計算能力はこの時期につけておきましょう。本番にミスしてしまうと自分のように点が伸び悩むので、時間のある今のうちにこそ、一見どうでもいいけど大切な勉強が有効になると思います。
4	文一	42	60	難しい問題をたくさん解くよりも、基礎を完璧にすることが大事です。『チャート式』(数研出版)、『大学への数学 1対1の対応の演習』(東京出版)は、解けない問題がなくなるまでやるべきです。基礎が仕上がったら、『文系数学の良問プラチカー数学 I・A・II・B』(河合出版)で演習を積むと良いでしょう。また苦手分野は高3になる前に克服しておきましょう。
5	文一	23	30	『青チャート』(数研出版)や『大学への数学 1対1の対応の演習』(東京出版)などの基礎～標準レベルの参考書を始められると良いと思います。問題をパターン化して解く手順などを覚えることは有用だと思います。
6	文一	41	55	教科書レベルの公式と定石を習得している(ただ暗記するのではなく、理解して自分で使える)状態が望ましいと思います。もし、模試や学校の定期テストで計算ミスが目立つ人がいれば、計算力も高2のうちに強化しておくのが良いと思います。
7	文二	52	48	高3までには、1A2Bを学習し終え、さらに応用問題まで演習しておく方が良いと思います。『青チャート』(数研出版)や『Focus Gold』(啓林館)、『4STEP』(数研出版)などの問題が全体的に出来るくらいまで演習をして、解けるようにしましょう。苦手分野は作らないように繰り返し解くなどして、つぶしていきましょう。高3になってからは、基礎が固まっていれば、より早く過去問に移ることが出来ると思います。
8	文二	52	45	基礎的な公式から不安だったり、時間に余裕のある人は『青チャート』(数研出版)をやっても良いと思いますが、最低限の基礎ができていない人ならば『1対1対応の演習 I A II B』(東京出版)を解き始めることをお勧めします。時期にもよりますが、1周目は基本例題だけやり、2周目は1周目で解けなかった問題を解き直し、3周目に演習問題に入るといったやり方が良いでしょう。時間に余裕がない場合は、全ての演習問題をやるのではなく、確率や軌跡、微積分あたりの頻出分野のみ解くというやり方もおすすめです。
9	文二	68	70	典型的な問題を理解し、問題に対するアプローチの幅を広げる作業をすると良いと思います。高3までに基礎を固めることで発展問題に対する理解もより深まります。
10	文三	50	50	英語と共に高1・高2のうちに基礎を固めておくべき科目です。色々な問題集に手を出すよりも、1つの問題集を何周もして一通り基礎を固めましょう。典型問題において定石がきちんと使え、答案も必要な項目を漏らさず書けるようにしておくことが重要です。演習に時間を割いて、計算力もつけておきましょう。
11	文三	54	48	学校で2Bまでの範囲を終えていない方に関しては焦りがあるかもしれませんが、今習った範囲の復習がきちんとできていればこれから十分対応できるので過度に心配しなくても大丈夫だと思います。まずは自分が理解でき、他人に解説できる分野を増やすことが大切です。センター模試なども活用しながら、基礎固めを進めましょう。

## 【高3になるまでにしておくべきこと、しておいた方がいいこと】

## ■数学

No.	科 類	開示点数	自己採点	学習のポイント
12	理一	115	115	センターレベルの数学は時間をかければ確実に解けるくらいにしておくといいいでしょう。また数学的に正しい証明を書く練習をしておくといいいでしょう。普段問題を解くときにただ解くだけでなくきちっと証明を書く、そして模範解答の証明を読み込むといったことをすれば自然と証明を書く力が付くはずですよ。
13	理一	75	56	むやみに難しい問題に手を出すよりは、学校の授業でやったところに関して基本問題は確実に解けるようにしておくことが大切だと思います。また、数Ⅲの学習が進んでいない人は、自分で先取りしておいたほうがいいと思います。高3になってから数Ⅲを始めると、演習量不足になりがちです。
14	理一	69	40	自分はいままでできませんでしたが、網羅系問題集を用いて解法の定石を学ぶとよいと思います。自信のある人は、後に残しておきたいからと惜しまず2次の過去問に手を出してみるのも良いと思います。1度解いた問題が、1週間後や1か月後にも解けるかチェックしてみましょう。
15	理一	103	100	『青チャート』(数研出版)をやりましたが、その時その時は問題が解けていても、範囲が全体になると手が出ないという感じだったので、青チャートをやったことによって数学力が格段に上がったとは思いません。高3になってやった『1対1対応の演習』(東京出版)で実力が格段に上がったと感じたので、高2の段階で数Ⅲ以外はやってしまうことをオススメします。
16	理二	102	80	高3になるまでに数Ⅰ・Aと数Ⅱ・Bは学習を済ませ、『チャート式』(数研出版)などで基礎的な問題はすらすら解けるように演習を積んでおくといいいと思います。高2のうちに数Ⅲに入っている人もいますが、曖昧なまま学習を進めるのが一番危ないので、高3になる前の冬休みや春休みを利用して、疑問点や苦手分野をできるだけつぶしておくのが大切です。
17	理二	74	60	高2の秋ごろから高3の春にかけてはとにかく基礎を固めましょう。典型的な問題が網羅されていて解答や解説が納得できる問題集を探して進めるといいと思います。また、普段記述をおろそかにしていると答えは出るのに過程で減点されて点が伸びない事態になるので、苦手な人こそ今のうちから必要な記述や論理的な文を書くことを心がけて下さい。
18	理二	108	100	高3までにやっておくべきことというのは特にはないです。その人の実力に合わせて勉強が一番です。『青チャート』(数研出版)や『1対1対応の演習』(東京出版)は高3になっても使えますし、これら基本からやや発展までの参考書に加えて高3から過去問をとけば十分本番の試験で対応できると僕は思っています。参考書も使い方次第です。僕は数学が得意ではなく、模試でも成績は目も当てられないようなものでしたが、上記の参考書と過去問のみを丁寧にこなしたところ、高得点がとれました。身の丈にあった勉強が大事です。
19	理三	120	120	高3では理科に力を入れることになると思うので、数学は高2のうちにある程度のところまでは仕上げてください。高2のうちは、制限時間を設けた演習よりも、単元別に演習をして自分の苦手分野を把握しておくことが必要だと思います。
20	理三	98	94	基礎的な問題集を使って、定石をできるだけ多くストックしておきましょう。私は高3に入るまでに『1対1対応の演習』(東京出版)を4周しました。また、理系の生徒の場合は数学Ⅲの最後の範囲まで目を通しておきましょう。
21	理三	104	105	高3が始まるまでに一通り学習が済んでいると好ましいです。人によって入試における数学の捉え方は様々ですが、数学に苦手意識のある人は、まずは基本問題を確実に解くことを目標にしてみると良いと思います。一方、難しい問題を解いて数学を得点源にしたい人には、高3になって他科目の勉強で忙しくなる前に、一つの問題をじっくり考える時間をもつことをお勧めします。
22	理三	120	115	高2までに数Ⅲを含めて基本的な問題は確実に解けるようにしておきましょう。特に数Ⅲは得点源にしやすいため、早めにたくさん演習を積んでおくべきです。まだこの時期は時間を意識しなくて良いので、難しい問題は解けるまでとことん考えましょう。
23	理三	106	102	あまり得意でない人は、自分がギリギリ解けるかどうか、というレベルの質の高い参考書を選びそれを繰り返して解き、問題へのアプローチの仕方を考えるという勉強をしておきましょう。得意な人は問題演習を定期的に行い、数学オリンピックの問題とかにも手を出してみると良いかもしれません。また、数学は最初の解法選択の上手さと計算力で99%決まるので、計算練習はちゃんとしましょう。

## 【高3になるまでにしておくべきこと、しておいた方がいいこと】

## ■物理

No.	科 類	開示点数	自己採点	学習のポイント
1	理一	53	45	まだ時間がある高2のうちだからこそ、ただ問題の解法を覚えてその問題が解けるようになるだけでなく、その問題に対して発展的な考察を試みたりして物理に関する理解を深めたいと思います。それは、高3になった時の、問題を解くスピードのアップや、見慣れない新傾向の問題を解く力の養成にきつと繋がるはずで。
2	理一	40	40	東進で『ハイレベル物理』(苑田 尚之先生)の力学、波動、熱力学を高2の間は受講していました。わからなくなったら一時停止して、分かるまで何時間も考えました。僕は理論重視だった上に、部活が忙しかったので、問題集はやっていませんでしたが、時間がある方は理解できているか確かめるためにある程度はやっておいた方がいいと思います。
3	理一	54	55	基本は英数をやりましょう。英数が割とできて余裕がある人は、『物理のエッセンス』(全二巻:河合出版)などをやって基礎を固めるといいでしょう。学校で配られている参考書があるならそれをやれば十分だと思います。この時期に物理をやるなら、物理の基本的な考え方を身に付けるという意識を持つといいでしょう。
4	理一	25	30	理科に関しては基本的に授業で習ったことを覚えておくというスタンスで大丈夫だと思います。ただ、公式を丸暗記して分かったつもりになるのはよくないので、習った分野の色々な問題を解いて、疑問点が出てきたら学校の先生などに質問して消化する等しましょう。
5	理三	47	45	高3までに一通り基礎学習が済んでいると良いのですが、部活や学校行事で忙しい人も多くてなかなか難しいと思います。力学は他の分野でも必要となる重要な単元なので、力学は高3までに学習することをお勧めします。物理は演習量よりも理解が大切だと感じるの、はやく勉強を進めようとするのではなく、きちんと理解してから次に進むようにしてほしいです。
6	理三	53	57	私が高1高2の時は学校の定期試験の対策ぐらいしかしていませんでした。力学分野が、物理のほかの分野でも基礎的で重要な分野になるので、かならず力学だけは固めておきましょう。無理に全範囲終わらすよりは、一つ一つの分野について理解を確実にしていくの方が重要です。「センター試験同日体験受験」の際に、既習分野については自信をもって全問正答できるようにしておけば問題ないでしょう。
7	理三	53	55	物理は基本原理を完全に理解すれば最終的にどのような問題にも対処することができるようになります。なので、問題を解く際は曖昧な部分が一切残らないようにすることを強く意識すると良いです。問題集は『難問題の系統とその解き方物理』(ニュートンプレス)がオススメです。これに載っている問題は本質をついた良問が多いです。高2までに全問題に触れておくと良いと思います。
8	理三	52	54	あまり勉強が進捗していない人が多いと思うので、まずはセンターレベルでいいので分かることを増やしましょう。増えてきたら『物理重要問題集』(数研出版)などの少し難しい参考書に手を出してみましょう。それもある程度できるようになってきたら過去問を見てみると良いと思います。 東大の問題は別に難しくはないので時間無制限でいいなら8-9割取れる。といった状態には比較的簡単になります。そこからは速度と正確さがものを言うので高3の後半ではひたすら問題演習をすることになります。意外と新しいことを取り入れる時間はないので基礎は一発で固めるつもりで頑張りましょう。 (物理の注意点として、概念を勘違いしたまま理解してしまうと、後々大問1つ分全て失点する等の大事故を起こすのでとにかく正確に理解するように気をつけてください。)
9	理三	52	50	高2の間に物理の基本原理を全て完璧に押さえておくと、高3からの本格的な演習ができます。物理は基本原理だけでどんな問題も解くことができます。原理を理解し終わったら、『難問題の系統とその解き方物理』(ニュートンプレス)の例題などをやると良いでしょう。高2の終わりに例題を全てやっておくと良いです。



## 【高3になるまでにしておくべきこと、しておいた方がいいこと】

## ■化学

No.	科 類	開示点数	自己採点	学習のポイント
1	理一	48	41	時間的に余裕のある高2だからこそ、普段の演習で複雑な計算が出てきたときに、式がたてられていたとしてもきちんと手を動かして計算することが大切だと思います。最後の最後に計算力不足で点が伸び悩むことはよくあります。計算力はすぐに身につくものではありません。普段からの蓄積によって身につくものです。高2からそれを意識的に行うだけでもかなり結果は変わってくると思います。
2	理一	44	45	高校で配られたオリジナルの教材をやりながら、東進で『ハイレベル化学』を受講していました。化学よりも物理が好きだったので、先に物理を終わらせようと思っていましたがどちらを先にやるかは人それぞれだと思います。高3になってから、まず『ハイレベル化学』を終わらせて、『化学重要問題集』(数研出版)の苦手な範囲だけやっていました。
3	理一	51	50	基本は英数をやりましょう。英数が割とできて余裕がある人は、『エクセル化学総合版』(実教出版)などを使って基礎を固めるといいでしょう。学校で配られている参考書があるならそれをやれば十分です。
4	理一	45	40	理科に関しては基本的に授業で習ったことを覚えておくというスタンスで大丈夫だと思います。学校で配布される基礎レベルの問題集を用いて知識を定着させましょう。進度が遅い人も、先取り学習は余裕があればかまいません。まずは既に習った内容がきっちり理解できているか、暗記できているかということを優先させましょう。
5	理二	44	40	英数の基礎を固めることに比べれば理科の優先順位は低いですが、最低限学校の授業でやった分野は理解しておきましょう。無機などの暗記事項はいつか覚えなければならぬので余裕があれば今のうちに覚えやすいまとめノートなどを作ってみるといいかもしれません。
6	理二	38	44	化学は高2から力を入れてやっていました。理由は単純に好きだったからです。高3になるまでにセンターで9割得点できるくらいにはなっていました。しかし僕みたいなタイプは珍しく、一般的には国数英を高2までに固めるべきと言われます。個人的には、苦手な教科を高2の間に固め、高3で好きな科目に全力を注ぐべきだったと後悔しています。国数英が固まっている人は理科に本腰を入れてみたらどうでしょうか。オススメです。
7	理二	50	40	学校によって進度のばらつきがある科目ですが、理論、有機、無機のうち2つを高3になる前にほぼ終わらせておく、というのが1つの目安ではないかと思います。また、既習分野に関しては問題演習を積んで、基礎的な問題は確実に解けるようにしておくのが大事です。
8	理三	48	45	化学は覚えることが多いので、計画を立てて覚えていきましょう。理論分野は高3が始まるまでに通り学習できていると好ましいです。授業や教科書の内容を理解するだけでなく、教科書傍用問題集などでもいいので問題演習もセットですると力がつきます。また、学校の授業で実験をしたり、図説を見たりすることもあるかと思いますが、そういう経験が入試問題を解く上で役立つこともあると思います。
9	理三	53	55	全範囲、目を通すことが理想です。ただ、高2の間は英数を優先してほしいので、化学に時間を割けられない人も多いと思います。そのような人は、理論化学を固めることを優先しましょう。理論化学の土台がしっかりしていると、無機有機分野の学習がスムーズにいくと思います。私は、高2のうちは学校の定期試験の前に、範囲となった分野についてじっくり演習するようにしていました。
10	理三	56	55	高2までに全範囲の基本知識を身につけましょう。無機や高分子の暗記はできるだけ早めにやっておいた方がいいです。参考書は『化学の新研究』(三省堂)がオススメです。私は、化学の勉強で疑問が生じた際にこれを参照しました。同時に同書を使って問題演習を積むと良いです。基本問題が多く解説もとても詳しいので、基礎固めには最適です。高2までに1周しておくが高3で有利です。
11	理三	53	54	あんまり勉強が進捗していない人が多いと思うので、まずはセンターレベルでいいので分かることを増やしましょう。増えてきたら『化学重要問題集』(数研出版)などの少し難しい参考書に手を出してみましょう。それもある程度できるようになってきたら過去問を見てみると良いと思います。東大の問題は別に難しくはないので時間無制限でいいなら8-9割取れる。といった状態には比較的簡単になります。そこからは速度と正確さがものを言うので高3の後半ではひたすら問題演習をすることになります。意外と新しいことを取り入れる時間はないので基礎は一発で固めるつもりで頑張りましょう。 (化学はある程度問題のパターンみたいなものがあるので、とにかく多く解いた人が勝ちます。得意になりたいならどんどん問題を解きましょう。)(現時点で東大模試で40以上取れるよ、というレベルの人には化学グランプリという大会の予選問題を解いてみることをおすすめします、良問ぞろいです。)
12	理三	55	55	高2までに全範囲(理論、無機、有機)をさらっておきましょう。そうすることで、高3ではより発展的な演習や重要なポイントまとめなどに時間を回すことができ、自分の犯しやすいミスに対処する余裕も生まれます。問題集は『化学の新演習』(三省堂)がオススメです。全範囲の基本問題を網羅できます。高3になるまでに一通り解いて化学の問題に対する瞬発力を磨き、それと同時に化学独特の計算にも慣れておきましょう。

## 【高3になるまでにしておくべきこと、しておいた方がいいこと】

## ■生物

No.	科 類	開示点数	自己採点	学習のポイント
1	理二	40	40	東大生物は教科書の精読が何よりも大切です。多くの時間を割く必要はありませんが、一ページに一つ質問を見つけるつもりで今の時期から教科書をじっくり読み進めていくといいと思います。
2	理二	33	30	教科書を丁寧に読む、というのが大切な科目です。完璧に理解するところまでは至らなくても、高2のうちに教科書を一通り読み、全く知らないという分野をなくしておく高3で順調に学習を進められると思います。
3	理二	36	41	電車での移動や寝る前のスキマ時間など、暇なときに教科書を読むぐらいで十分です。高3になれば否が応でも教科書を読みまくることになります。高1・2の間は理科よりも国数英に時間を割くことをオススメします。

## 【高3になるまでにしておくべきこと、しておいた方がいいこと】

## ■世界史

No.	科 類	開示点数	自己採点	学習のポイント
1	文一	38	30	まずは、学校の授業でやった内容を逐一完璧にしようという意識で定期テストに臨むことが大事だと思います。英数国の基礎固めをやりつつ、もし余裕があれば、通史の勉強を始めると高3になってからの社会の勉強がかなりスムーズになると思います。
2	文一	35	35	この科目に時間をかける前に数学と英語を勉強しておきましょう。この科目の優先度は高2時点では低いと思います。それでもこの科目を勉強するのであれば、まずは学校の授業をそれなりに吸収するように学習していき、それに加え教科書などを通じてあまり語句を詰め込むことを意識せず世界史の大局的な流れを少しずつ掴んでいけば十分なように思います。改めて言いますが、まずは時間のかかる英数に粘り強く取り組みましょう。
3	文一	40	40	まだ世界史に労力を注がなくても良いとは思いますが、学校の定期試験などを活用して習った範囲は身につけておくの良いと思います。教科書はいきなり読むと難しいことも多いので、通史をわかりやすく書いている『これならわかる!ナビゲーター世界史B』(山川出版社)を使うのがおすすめです。
4	文一	30	30	学校の定期試験は真剣に取り組みましょう。英語・数学が完成されている人は自分で古代から復習しても良いですが、他教科から逃げるように世界史をやるのはオススメしません。
5	文二	44	40	まずは通史を終わらせましょう。この際、一回で全ての語句を覚えるのは無理なので、大体の流れと王朝の名前程度を把握できれば良いです。並行して『最新世界史図説 タペストリー』(帝国書院)などの資料集を活用してフローチャートや写真を見ておくと覚えやすい気がします。通史が終わり次第、一問一答でアウトプットをしましょう。これもまずは基本語句のみ覚え、残りは関連づけつつ頭に入れる程度で良いです。
6	文二	48	38	まだまだ通史は終わっていないと思いますが、既習範囲の知識は教科書や参考書を使って固めておくようにしましょう。また、知識だけで重要なテーマや時代の流れを意識して復習すると良いでしょう。
7	文二	29	35	高3までは余裕がある人以外はなるべく英数を中心に進めるべきですが、それらの妨げにならない程度に教科書などを一周読んでみると高3以降の学習がかなりスムーズになると思います。

## 【高3になるまでにしておくべきこと、しておいた方がいいこと】

## ■日本史

No.	科 類	開示点数	自己採点	学習のポイント
1	文一	34		細かな知識の詰め込みは高3になってからでも間に合いますし、高3までに頑張って覚えてもすぐに抜けてしまうので、早くから時間を掛けすぎること避けたほうが良いと思います。ただ、ある程度ベースとなる知識があった方が、高3になったときに詰め込みやすくなります。ですから定期試験だけは真面目に勉強するとか日本史マンガだけは読んでおくとか、少しずつ日本史に触れていると良いと思います。
2	文一	40	35	高3になる前に通史を一通り終わらせておく方が良いでしょう。一問一答形式の参考書ではなく、大まかな流れがわかるような参考書を用いると良いです。『これならわかる！ナビゲーター日本史B』（山川出版社）がおすすめです。また東大日本史は特殊なので、なるべく早い段階で1度は過去問に触れておくべきです。
3	文一	39	35	まだ本格的に始める必要はないですが、学校で習ったところは用語などを身につけましょう。『中学から使える 詳説日本史ガイドブック』（山川出版社）はわかりやすく、また東大日本史に過不足ない情報量なので、読み始めるのも良いと思います。
4	文一	36	30	定期テストなどを利用して、学校の授業でやった内容を習得していくことが大事だと思います。経験則ですが、時間が経って忘れてしまっても、一度頭に入れる作業をしておく、再度覚えるときは頭に入りやすくなります。通史の勉強を少しでも進められると高3になってからスムーズに学習できます。
5	文三	31	35	センターレベルで良いので、高1・高2のうちに通史を1周して大まかな日本史の流れを頭に入れておきましょう。その際、出来事の本質を掴むなど東大日本史に通ずる学習ができると尚良いと思います。ただ、あくまでも英数を固めることが優先なので、英数が固まっていない段階で、焦って社会に多くの時間を割く必要はないと思います。
6	文三	43	35	まだ既習範囲に限られているかもしれませんが、まずは習った部分を正確に理解しているか、自分で時代の流れを説明できるかを確認してみてください。進度が明らかに遅いと思われる場合には、余裕があれば教科書などを読み進め、一通り通史を終えておくのも良いと思います。



## 【高3になるまでにしておくべきこと、しておいた方がいいこと】

## ■地理

No.	科 類	開示点数	自己採点	学習のポイント
1	文一	36	35	地理も優先度は低い科目です。やはりこの時期は英数に取り組みましょう。この科目についていえば想像以上に身の回りや直結したテーマが多いので、日頃から周囲の社会的な出来事にアンテナを張ることは大事だと思います。また座学については学校で配布された資料集を中心として基本的な系統地誌から少しずつ知識を蓄えてゆけばよいと考えられます。これもまた、あまり時間をかけるべきではありません。
2	文一	32	30	高2の段階では地理にそれほど時間を割く必要はありませんが、スキマ時間に資料集や地図帳を眺めておくことで後々役に立ちます。地理には時事的な要素もあるので、日頃からニュースを見る習慣をつけておくのも良いでしょう。
3	文一	38	35	学校の定期試験は真剣に取り組みましょう。受験対策としては、資料集を読み込むのが吉。他教科から逃げるように地理をやるのはオススメしません。
4	文一	36		細かな知識の詰め込みは高3になってからでも間に合いますし、早くから時間を掛けすぎるとは避けたほうが良いと思います。ただ、ある程度ベースとなる知識があった方が、高3になったときに詰め込みをしやすくなります。なので、定期試験だけは真面目に勉強するか資料集の写真だけは見ておくとか、少しずつ地理に触れていると高3での学習がスムーズになると思います。
5	文二	43	40	自分で学習するのは難しいので、基本的に学校で習った範囲を繰り返し復習すると良いかと思います。資料集や地図帳を参照したり、自分でノートに作図したりする習慣をつけておいた方が良いと思います。
6	文二	45	35	特にやっておかなければならないものはありませんが、センター向けの網羅型参考書を一周しておくことでセンター模試などで点が取りやすくなると思います。おすすめは『改訂第2版 センター試験地理Bの点数が面白いほどとれる本』(KADOKAWA)です。さらっと範囲を一周するにはぴったりです。時間があればセンター型の問題を解いてみるのも良いでしょう。
7	文二	36	40	高3までは余裕がある人以外はなるべく英数を中心に進めるべきですが、それらの妨げにならない程度に論述地理の中でもほとんどの部分を占める系統地理の勉強をすると良いと思います。
8	文三	37	40	地理は、自分の中の「常識」のストックがモノを言う科目でもあると思うので、普段から地理的話題に触れておくのが良いと思います。『センター試験過去問研究』(教学社)を何年分か解いてみるのも良いでしょう。この時期からすべきことといえば数英の主要科目の基礎固めがあくまで優先ですが、まだ時間的余裕もあるので趣味的に資料集を読んでおくのも良いと思います。
9	文三	37	35	学校の授業や定期テストにきちんと取り組むようにして、センターレベルの知識をざっくりおさえられると良いと思います。ただ、あくまでも英数を固めることが優先なので(其の上地理は歴史2科目に比して必要とされる勉強時間が非常に少ないので)、英数が固まっていない段階で、焦って地理に多くの時間を割く必要はないと思います。